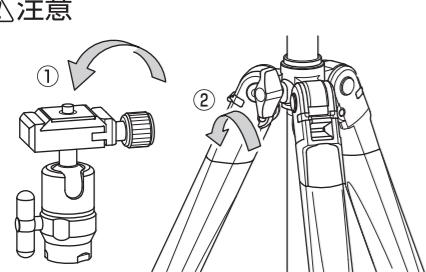


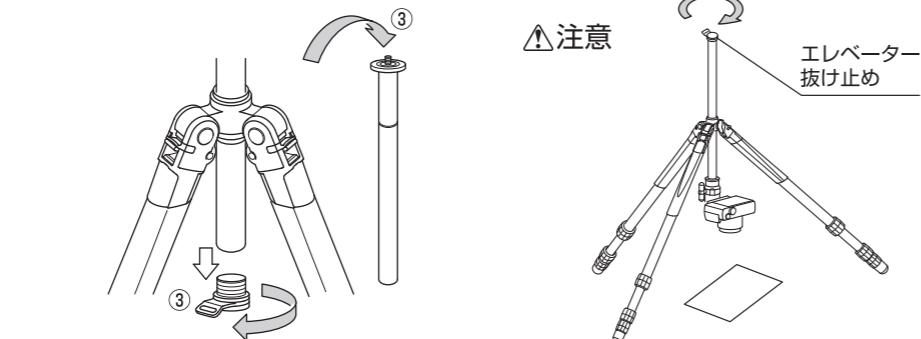
エレベーターの上下差しかえ

⚠ 注意



① エレベーターの上下差しかえのときは必ず雲台を外してください。

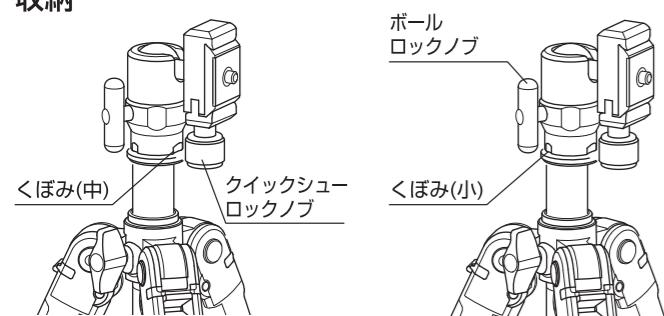
② エレベーターストップバーをゆるめます。



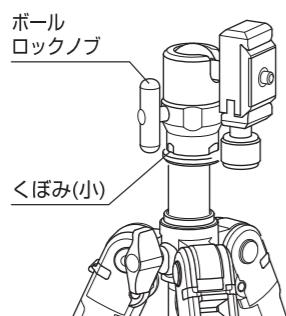
③ エレベーター抜け止めを外し、エレベーターを抜きとります。

入れかえが終わったらストッパーを締めつけて、落下防止のために必ずエレベーター抜け止めを取り付けてください。

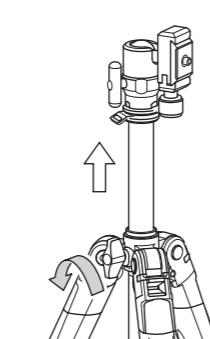
収納



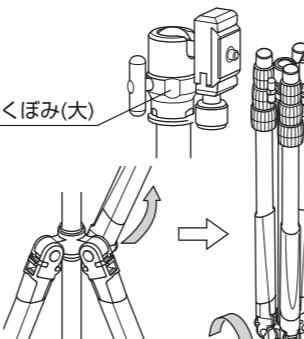
脚を180°反転させると、よりコンパクトに収納できます。初めに、雲台を操作してカメラ台を縦位置にします。この時、クイックシューロックノブを下方向にして、雲台の本体下部にあるくぼみ(中)に合わせます。



ボールロックノブも雲台の本体下部にあるくぼみ(小)に合わせて縦向きに締め込みます。

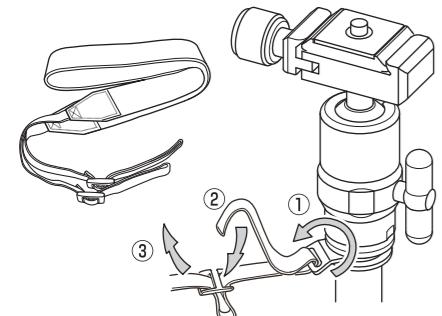


エレベーターストップバーをゆるめて、エレベーターを引き上げます。



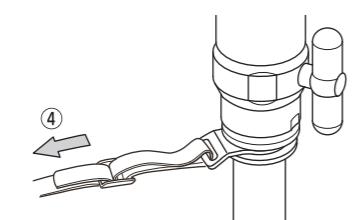
開脚ストップバーを操作して、全ての脚を雲台側に完全に閉じてください。このとき、脚は雲台本体下部のくぼみ(大)に合わせるとおさまりがよくなります。最後にエレベーターストップバーを締め込んでください。

付属品

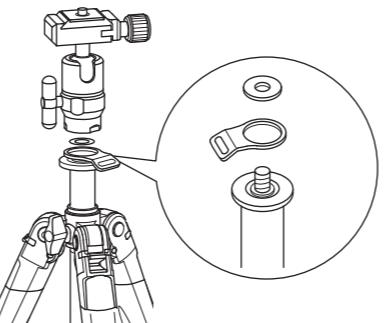


付属の三脚ストラップを使用すると三脚の持ち運びに便利です。
矢印にしたがってストラップを通します。

⚠ 注意



最後に強く引っ張り、抜けないことを確認します。
もう一方のストラップ取り付け部にも、同様にストラップを取り付けます。



雲台側の上部ストラップ取り付け部は、図のように金属プレートと一緒に雲台と三脚の間にはさんで使用します。このとき、上部ストラップ取り付け部は折り曲げ方向が下を向くように取り付けてください。

🚫 禁止



- 三脚や雲台各部へのオイル・グリス等の補充は絶対にしないでください。
破損、故障の原因となります。
- 可動部の動きが悪くなってきた場合は、お買い求めの販売店またはアフターサービスへご依頼ください。
- 火に近づけないようにしてください。
夏など高温になる車内などに長時間放置しないでください。

お手入れ

・よがれたときには、中性洗剤をやわらかな布につけてふいてください。
その後、きれいな乾いた布でふいてください。

本製品の補修用性能部品は製造中止後5年を目安に保有しております。
したがって本期間に修理をお受けいたします。

インターネット・ホームページ <http://www.slik.co.jp/>

*改良のため、お断りなくデザイン、仕様を変更することがありますのでご了承ください。
©2015 SLIK CORPORATION

SLIK®

エアリーカーボン 644

仕様

総長	469 mm
全高	1,782 mm
EVスライド	355 mm
質量	1,190 g

取扱説明書

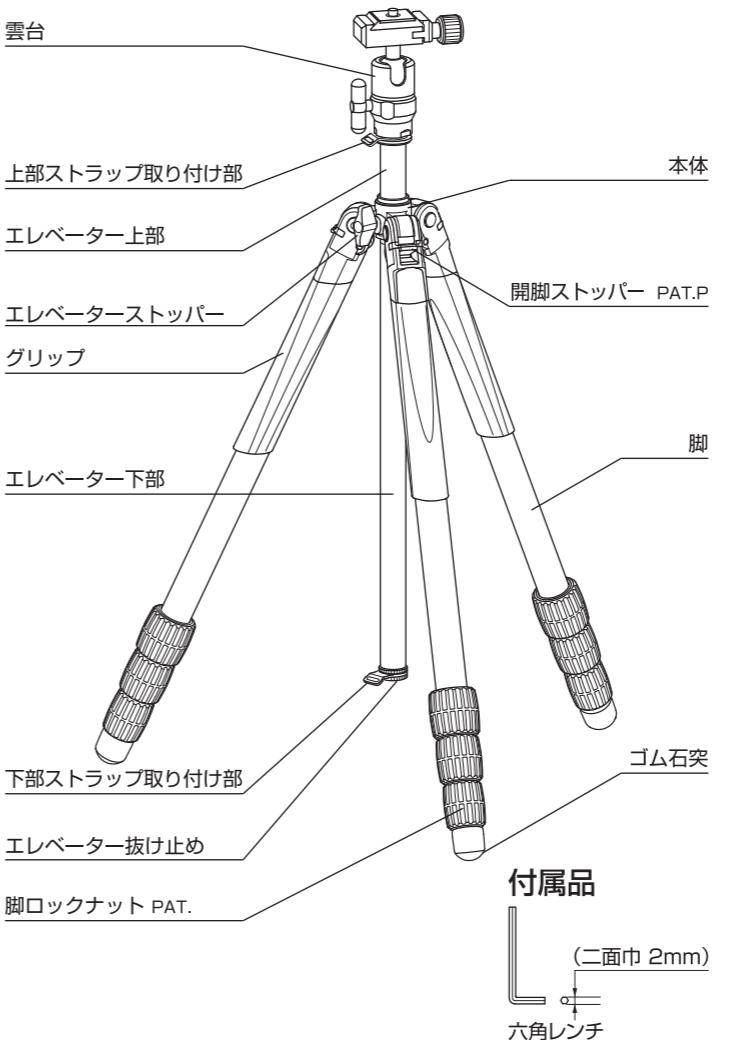
このたびは、スリック製品をお買い求めいただきまことにありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき正しく、十分に性能を生かしてお使いください。お読みになったあとは必ず保管し、わからないときには再読してください。

⚠ 注意 このマークは取扱いを誤った場合、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

🚫 禁止 このマークは禁止（してはいけないこと）内容です。
説明にしたがい事故のないようお使いください。

R973-1

各部名称

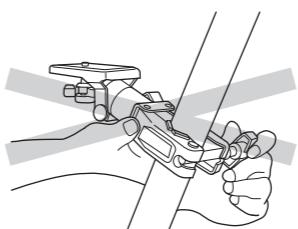


衝撃のあった時

⚠ 注意

クランプヘッド

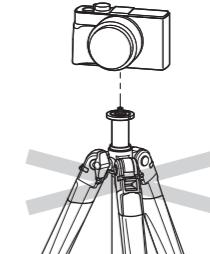
🚫 禁止



三脚が転倒するなど衝撃が加わった場合は、パイプにひび割れが入っていないか確認ください。
傷、割れ等が見つかった場合はただちに使用を中止し修理を依頼してください。
カーボン繊維が出ていている場合はケガをするおそれがあります。直接ぶれないようご注意ください。

雲台取り付けネジ

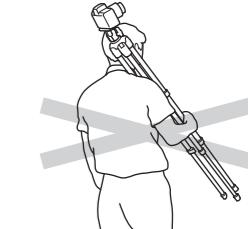
🚫 禁止



別売のクランプヘッドはカーボン三脚に使用しないでください。
パイプが破損し危険です。
カメラを直接エレベーターに取り付けることは故障の原因になります。
必ず雲台などを介してお取り付けください。

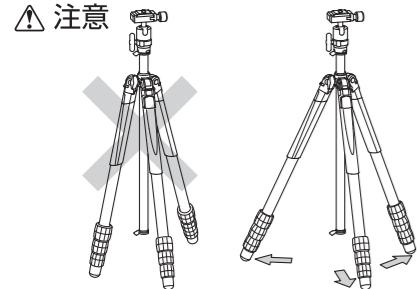
持ち運びのとき

🚫 禁止



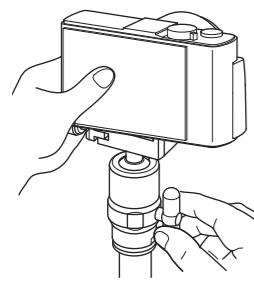
カメラは三脚から外して持ち運んでください。
カメラの落下、使用者や周囲の人へのケガ、物損等を起こす可能性があります。

機材のセットアップ

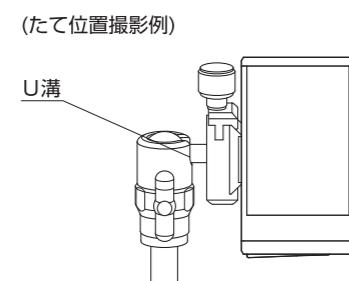


カメラの取り付け、ハンドル、ツマミ、レバー類のロックは確実に行って、落下や転倒を防いでください。また、3本の脚を開いてください。脚の開きが不十分だと不安定でカメラブレや転倒の原因になります。

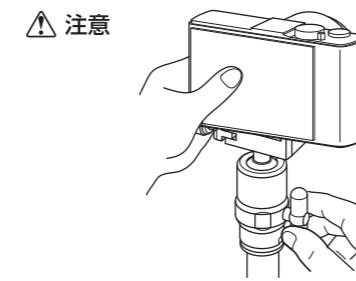
雲台の使い方



カメラをささえながらボールロックノブをゆるめると、カメラ台はフリーになり、雲台本体上部も回転します。アングルを決めてボールロックノブをしっかりと締め付けてください。

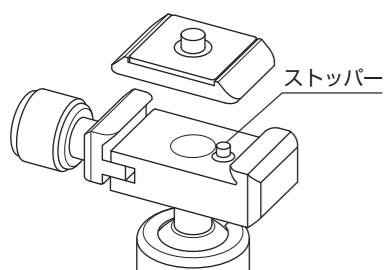


カメラ台をU溝に倒し込むことでカメラをたて位置にセットできます。

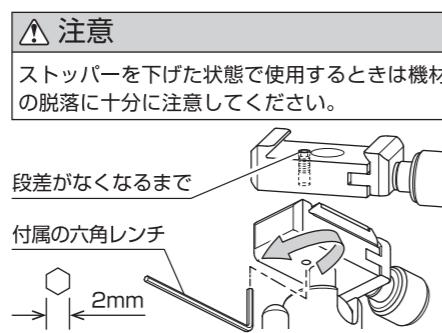


カメラを取り付けた状態でボールロックノブをゆるめると、カメラが急に倒れることができます。ボールロックノブをゆるめたときは、固定するまでカメラをしっかりと支えてください。

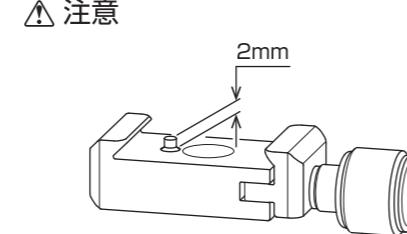
アルカスイス互換クイックシュー



本製品には、付属のクイックシュー以外のアルカスイス互換クイックシューを取り付けることができます。取り付けようとするクイックシューにストップバーがひっかかるときは、次の説明にしたがってストップバーを下げて使用してください。

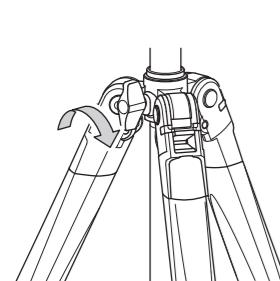


カメラ台の裏側から付属の六角レンチ(2面巾2mm)を差し込んで、ストップバーを矢印の方向へまわします。ストップバーとカメラ台の段差がなくなるまで調整してください。

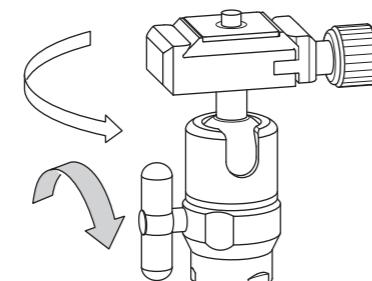


付属のクイックシューを使用するときは、必ずストップバーを図のように通常位置に戻して使用してください。通常位置のストップバー高さは、ネジ山が見えなくなる程度の約2mmの高さに調整してください。

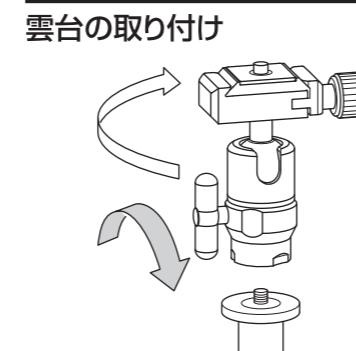
雲台の取り外し



他の雲台やアクセサリーをこの脚に取り付けるときは、次の方法で交換してください。最初にエレベーターストップバーを締め込みます。

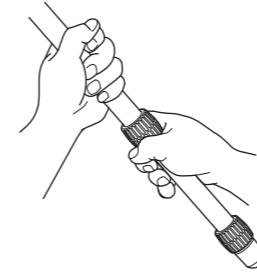


次に、ボールロックノブを締め込みます。雲台を反時計まわりにまわすと雲台がゆるみます。



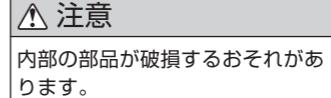
雲台の三脚取り付けネジと三脚の雲台取り付けネジを合わせます。ボールロックノブを締め込んでから、雲台を時計まわりにまわしてしっかりとねじ込みます。

脚の伸縮



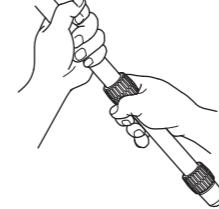
脚ロックナットをゆるめると、脚は伸縮します。位置がきまつたら、しっかりと脚ロックナットを締めつけてください。

脚の増し締めのとき



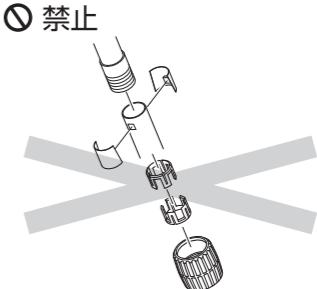
△ 注意

内部の部品が破損するおそれがあります。



脚ロックナットを増し締めするときは、力強く締め込むときは、1段上のパイプを持って締め込んでください。

脚の分解



本製品は分解等しないように注意してください。誤って脚ロックナットを外した場合は、次の図を参考に正しく組み立ててください。

△ 注意

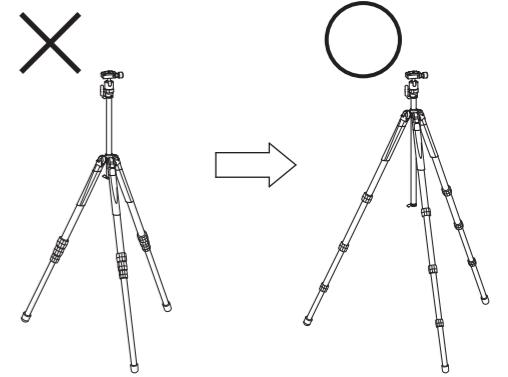
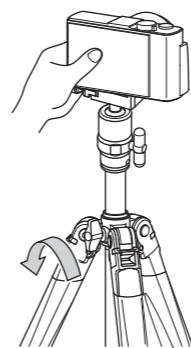
万が一分解したときは図を参考に位置を合わせて組み立ててください。

2つのコマの隙間とパイプ内側の凸部を合わせてください。



パイプを差し込むときは、2つのコマの隙間とパイプの内側の凸部を合わせてください。確実な組み立てが難しい場合は、お買い求めの販売店またはアフターサービスへご依頼ください。(無料修理保証の対象外です。)

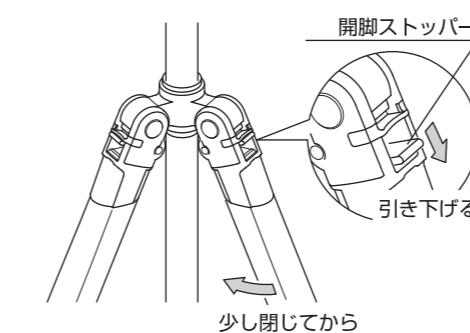
エレベーターの使い方



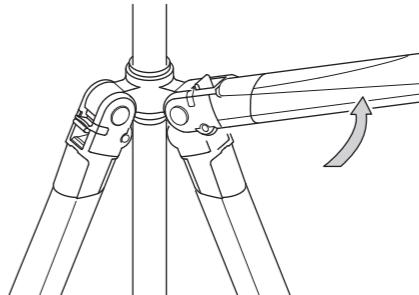
雲台に手をそえてエレベーターストップバーをゆるめます。雲台を上下させて位置が決まったら、手を離す前にしっかりとエレベーターストップバーをロックしてください。

ブレ防止のため、エレベーターはなるべく短かくしてご使用ください。また、脚は太いパイプを優先してお使いください。

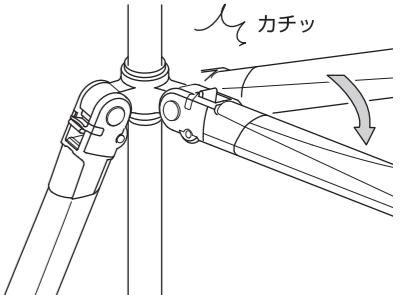
開脚角を変える PAT.P



標準の開き位置から脚を少し閉じるようにしてから、開脚ストップバーを引き下げます。

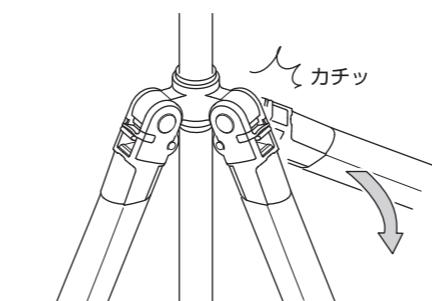


脚を水平より上に引き上げます。

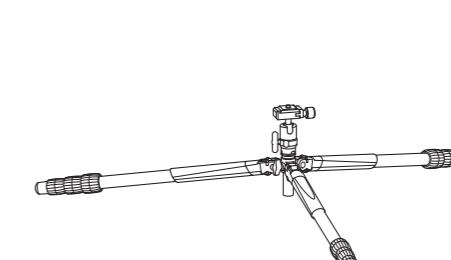


引き上げた脚をゆっくり閉じていくと開脚ストップバーが自動的にカチッと鳴ります。この位置がロー位置となります。

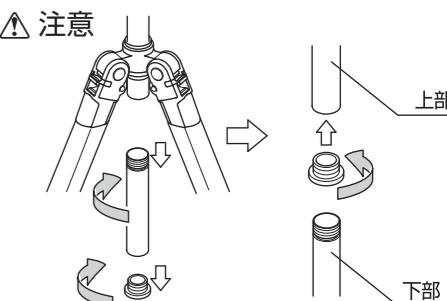
ローポジション



さらに脚を閉じていくことで、ミドルポジション、標準開脚の順に調整することができます。



ローポジションにするときは、エレベーター下部を取り外してください。



エレベーター抜け止めと、エレベーター下部を矢印の方向にねじって取り外します。取り外したエレベーター抜け止めは、エレベーター上部の下側に必ず取り付けてください。